

ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2023出展レポート



来場者数	13,154名 (※ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2023/第25回不動産ソリューションフェアの合計)
開催日	2023年11月15～17日
開催会場	東京ビッグサイト 東展示棟 (東京都)
主催	公益社団法人全国ビルメンテナンス協会/一般社団法人日本能率協会
内容	国内最大級のビルメンテナンス分野に特化した専門展示会

【概要】幅広いロボットが出展。当社はロボットとセンサーを連携させたサービスを紹介！

SmartBXは、2023年11月15日からの3日間「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2023」に出展しました。本展示会には、ビルオーナー、ビル管理組合、マンション管理組合、ゼネコン、設計事務所、ディベロッパー、工場、商業施設、ホテル、公共施設、学校、病院、イベント施設、法人ユーザー（事業主）などさまざまな分野の方が来場しました。

イベント会場内の多くのブースで清掃ロボットが展示され、ロボット中心の展示会になった中、どのロボットを選定していいかわからないという声も多くあり、今回SmartBXではロボットとセンサーを連携させたサービスをデモ付きで展示いたしました。

当社ブースでは、ロボットだけでは解決できない課題をセンサーや二次元コードで解決するというデモンストレーションに興味を示す人が多く、来場者の注目を集めた活況の3日間となりました。

【センサーや二次元コードの活用例】

- ①トイレやエントランスなどにセンサーを設置し、施設利用者の往来頻度を基準に清掃回数、仕様を見直す。
- ②ゴミ箱にセンサーを設置し、容量をリアルタイムで検知し、交換対応が必要な時にだけ交換しに行く清掃体制に変更する。
- ③施設利用者汚れを知らせてくれる二次元コード問合せ機能で、満足度向上の実現や汚れ沈着を軽減を実現する。

また当社ブースにお越しいただいたお客様が抱えられている課題として多かったものは、以下の観点となっております。

【お客様が抱えられている課題TOP3】

1位：清掃現場の人手不足

2位：清掃品質の改善

3位：清掃業務効率化、生産性向上 / 清掃現場のDX化、AI化

そして、そのような課題観を抱えられているお客様から当社に以下のような期待が寄せられました。

【当社に寄せられたお客様の主な声】

清掃ロボット活用だけでなく、さまざまなテクノロジーを掛け合わせて、清掃仕様を見直すという考え方はおもしろい。業務効率化が実現できそう。

センサーや二次元コード問い合わせ機能を活用し、汚れたらすぐに清掃にかけつけるという清掃方法は清掃品質向上、そして満足度向上を実現できると思った。

現在人手不足で困っていた現場に試してみたいと思った。
清掃ロボット以外の解決策は参考になった。

私たちは、皆様の期待に応えるべく、これからも技術革新を追求し続けます。
次回の展示会でさらなる進化をお見せできることを楽しみにしています。

問合わせ先

SmartBX株式会社 事業開発部
ウェブサイト: <https://www.smartbx.co.jp/inquiry>
メールアドレス: sales@smartbx.co.jp
電話番号: 03-6742-0280